

理不尽

ワイロもあれもこれももらう 高級官僚とはいい商売ですな

特別養護老人ホーム理事長と厚生省官僚の贈収賄疑惑は岡光序治前厚生事務次官の逮捕で決着した。容疑は理事長が建設を計画した特養ホームへの国の補助金支給に便宜を図った見返りに岡光前次官がゴルフ会員権、現金6千万円など総額1億円以上を受け取ったもの。事務方トップの汚職に、国民の行政に対する不信感は募る一

方だ。だがもうひとつ腹の立つのはこの前次官、辞任したために、退職金こそ起訴時点で支払いが取り消しになるが、公務員はその支給時で退職していても賞与が出るのだ。岡光容疑者の場合その額320万円、賄賂をもらい犯罪者となっても賞与までもらえるとは、官僚とは本当に気楽な商売である。(杉)



ビジネスチャンスのおねたくり帳

(杉) / 杉谷 肖 (竹) / 竹中 聡 (本誌)



こんな人ばかりではないよ。まじめな公務員はなべて一般企業より給料安いからね。為念。

この人の人気だけで選手が大量に集められる、今だからこそその傍若無人かも。王、藤田の監督時代にはたしかに若い選手の「巨人離れ」があった。



名古屋は3月2日、米メジャーリーグサッカー初代王者・ワシントンD.C.ユナイテッドと「サンワバンク杯」を戦う。これもよくわからん大会である。



会はリーグ戦というのが世界の常識である。「でも本当の王者はボくら」鹿島の選手の言葉が不明瞭な大会の性格を言い表している。(杉)

最近では当の料理人が「こだわりの一品」などと発言したりする。いいんだよ、言葉とは乱れているから健全なのよ。

独善

これ以上巨人が好き勝手をするなら 報道機関のスポーツ運営を禁止せよ

「巨人は常勝でなければならない、多数の国民がファンだから」だそう。ドラフトの逆指名制、フリーエージェント制度もこの独善の考えを元に読売=巨人が推進したこと。「常勝」だけを皆が特に願うはずもない。それは長年に渡る読売の情報操作の結果なのだ。作られた「常勝幻想」を元にドラフトやFAで「棚のここからここまで全部」と下品でバブリーな買い物をし、自前の若手を飼い殺す巨人。情報操作しながら一方で好き勝手をするなら、報道機関のスポーツ運営など禁止するべきであろう。(杉)

不明瞭

名古屋は一体何のNO.1? 意味不明なサントリー杯

Jリーグとナビスコ杯の上位2チームが戦ったサントリー杯で名古屋が優勝した。だがこの大会、一体何の価値があるのか。『Jリーグチャンピオンシップファイナル』の名のとおりリーグ、カップの統一王座を競うなら、両大会の覇者同士のみが戦えばよい。リーグ戦1位の鹿島を破り優勝した同2位の名古屋、一体彼らは何の王者なのか。最も権威ある大

表現

「こだわる」にこだわって考えることこそこだわり!?

本誌のグルメ記事にも頻繁に出るが、どうも「こだわる」はほめ言葉になったようだ。元来「こだわる」とは、つまらないことに固執するの意で、否定的に使われる言葉だったが、最近は「素材にこだわ

った料理」のように、よいこととして使われている。原義を考えれば料理屋の大將に「素材にこだわる」とは失礼な表現だ。「素材を厳選する」が正しい。なんて考えが実は「こだわり」なのよねえ。(杉)



在宅テレホンレディ募集
 時給2,100~3,500円
 お家で楽々高収入!!
 サイドビジネスに最適!!
 ボーナス、お友達紹介手当
 12万円+5000円!!
 秘密厳守!! 大手だから安心です。
 ●銀行振込、週払いと月払いが選べます
 ●18歳以上(高校生不可)未経験者大歓迎
 ●電話1本で簡単登録! すぐにお仕事できます
 ●通月日でも24Hお好きな時間にOK
 受付時間 AM10時~早朝5時まで(生・日・祭日もOK!!)
 0120-500-200 (株)日本テレマックス



アホといえど…
 継続する吉本攻勢。
 かの「アホの代名詞」氏は
 映画に主演。

「アホ」と呼ばれた人が持つ共通項、それは「哀愁」だという。そこについて出来た映画の代表が寅さんシリーズで、言ってみりゃ寅さんはアホだ。といったら松竹映画は激怒するか大喜びするか。去る1月4日~10日、うめだ花月シアター「シネマワイズ」で公開された「平成名探偵 阪田京介」という映画。主演したのは、かのアホの代名詞、坂田利夫氏。本人が「是非やりたい。」と言ったそうで、今回ばかりは全編シリアス、本気でアホを返上。何せ哀愁のもとがアホの王様みたいなヒトである。あの一本筋の通ったアホさ加減から生まれる哀愁のリバウンドはいかばかりか? 映画を逃しても、3月21日にレンタルが開始されるビデオを楽しみに待てばいい。劇中、随所に出るという京都でのロケ地も興味深い。(竹)



ヒロイン細川直美嬢と並んでもバランスしているという…。真顔の坂田氏、違和感はないか。

当然、全編オリジナル曲で、中にはメロウなナンバーもあるということだ。ま、根っこがダンスであるから「バレンタインに恋人と…」とするには多少こじつけが必要か。

賞を買った私の部屋は…

時に展示場、時にアトリエ、
 もちろん住める。本気で芸術と向きあう部屋。

'96の京都市主催「HOPE賞(優れた伝統の継承と市民生活の活性化を促進する意図のもと、昭和58年に策定されたHOPE計画に基づく)」を受賞した左京区岩倉長谷町の一風変わった集合住宅、「クリエイター・ビレッジ CASA・BE(カーサ・ビー)」。芸術系学生御用達のワンルームである。もちろん各部屋、生活に必要な設備は揃ってはいるが、住み方ある程度限定してしまうその造りは、いっそ「偏った」という言い方が正しい。本気で「芸術」というルームメイトと生活していこうとするなら、ここまで思い切れとい

うと辛口に過ぎるか。だが、住まう部屋一つでも、将来を見据えて、己のキャリアの起点と考えて選ぶのがベストであることは確か。住むこと自体に根性は要らないが、生きていくには気合いは必要。ほぼ月に1回、空き部屋にて「住居空間をOFFICE、SHOPに」というコンセプトで様々なテーマのレクチャーも開かれているというから、さらに上昇指向の強い向きにはそちらのチェックも怠りなきやう。気になる家賃は58,000円~。入居の問い合わせは(株)テリア 京都市右京区常盤下田町7-15 075・861・4650まで。(竹)

CGや写真等、暗室での制作向きの地下(地下に部屋!)陶芸や彫刻に適した煉瓦敷きのフロア1F、絵画制作の為の採光が充実の2F、と、計19戸の間取りは、その名の通り、「よくぞ思い切った」クリエイター向け。1・2Fの全室はロフトが取り付け可能(オプション)。



クリエイター志向でないあなたが、写真を見て「かっちょイイ、住みたい!」と思っても、もちろん罪ではない。

バレンタインにピアノで聴く曲は…

京都在住辛口ピアニスト、
 大前チズル女史。全国ツアーで里帰り。



昨年4月に好評を博した全国ツアーは、アフリカ帰り直後とあってワールドミュージックの色香漂うアレンジで聴かせてくれた女史。今回の全国ツアー第2弾は、ご本人曰く「実験的ダンスミュージックをフィーチャーした」だそうです。その「実験」とはナニか? ダンスといえばやはり70年代の黒系ダンサブルソウルが思い出されるわけで、「あたってます?」と質問。答えて曰く「そう。私の中の『文化』としての当時の音を、私なりに濾過、消化したエッセンスとして入れてみた、という事」だそうです。今回Bassの船戸博史氏、

T.Saxの登敬三氏に加え、ゲストプレイヤーには日本最強の呼び声もあるA.Saxの林栄一氏、Drumsにはかのファナティック・ピアノ山下洋輔トリオで幾多のヨーロッパジャズフェスに出演した達人、小山彰太氏を迎えた。ジャズの醍醐味といえば、即興の粋。その中でどうダンスが出てくるのか、実験結果は実際に聴いてみよう。(竹)
 大前チズル & THE FAVOURS '97ライブツアー。京都市は2月8日(土)京都RAG(問い合わせ/075-241-0446)で前売3,090円、当日は3,605円(チケットぴあ取り扱い)